

業務用多収性品種

ZR1

全農

出願年：2023年

育成地：(国研) 農研機構 東北農業研究センター

組合せ：北陸263号(にじのきらめき)/ゆみあずさ

- ★ 超大粒で加工適正が高い業務用品種！！
- ★ 実需者を明確にした長期取引をご提案！！
- ★ 最高反収838kg/10a、1等比率89%※！！

※ 令和5年産試験圃場のうち、1等米となった圃場の比率



東北農業研究センターのZR1

栽培適地
出穂・成熟期

- ・栽培適地は東北中南部、北陸、関東以西
- ・出穂・成熟期ともにあきたこまちとほぼ同じ

特長

- ・耐倒伏性が強く、**多収・良食味**
- ・葉いもち、穂いもちともに“**かなり強**”
- ・縞葉枯病には**抵抗性**
- ・玄米千粒重は重く**大粒**
- ・食味はあきたこまちと**同等**

育成地データ（秋田県大仙市、(国研) 農研機構東北農業研究センター）

栽培方法	品種	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	倒伏 程度	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米千粒重 (g)	玄米品質
標肥栽培 (令和元～4年)	ZR1	7月31日	9月12日	74	0.5	66.3	117	25.3	4.2
	あきたこまち	7月31日	9月11日	82	1.9	56.8	100	23.1	4.2
多肥栽培 (令和2～4年)	ZR1	7月31日	9月17日	83	2.3	76.7	119	25.0	5.0
	あきたこまち	7月30日	9月13日	91	3.7	64.3	100	23.1	4.4

移植日：5月19日～24日

倒伏程度：0(無)～5(甚)

施肥：基肥5+追肥2Nkg/10a(標肥)、基肥7+追肥5Nkg/10a(多肥)

玄米品質：1(上上)～4(中上)～9(下下)

—栽培のポイント—

- ◆ 早生品種のため、早期移植による生育期間確保が重要
- ◆ 高温時には高温対策が必要(あきたこまち並の耐性)
- ◆ 耐冷性「中」のため、東北中山間地では栽培に注意

ZR1はJA全農と農研機構の共同育成品種です

JAグループ

全農